



特殊詐欺多発警報を再度発令します！

県の「ならみんなで STOP！特殊詐欺ゼロ運動」と連動し 発生件数ゼロを目指します。

生駒市は、増加し続ける市内の特殊詐欺被害未然防止のため、生駒警察署と合同で「生駒市特殊詐欺多発警報」を再度発令します。

本市では、令和 7 年 1 月 27 日～7 月 31 日に「特殊詐欺、SNS 型投資・ロマンス詐欺多発警報」を発表し、100 ヶ所を超える地域サロンでの注意喚起等、各種取組を集中的に進めました。その結果、警報発表期間中の被害は前年を大幅に下回りましたが、警報解除と共にリバウンド傾向となり、令和 7 年中の被害額は約 10 億円に上っています。

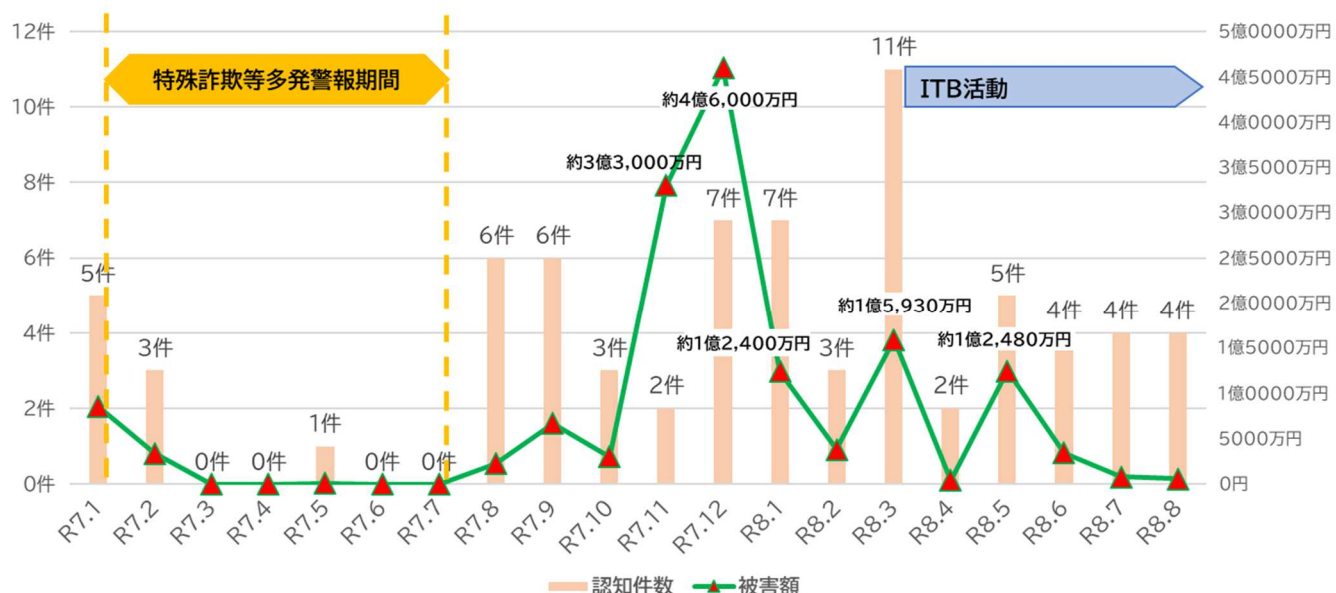
このことから、継続的な取組として令和 8 年 3 月 25 日から ITB (Ikoma Tokushusagi Bokumetsu team) の活動を始動し、一定の効果が見られていますが、令和 8 年 1 月から 8 月末まで、市内の被害件数は 40 件、被害額は約 5 億円に上り、件数は既に令和 7 年の 1 年間の 33 件を上回っています。

そこで、改めて特殊詐欺に対する市民の意識をさらに高めるため、ITB の継続的な活動に加えて、集中的な対策として、県の「ならみんなで STOP！特殊詐欺ゼロ運動」と連動して「生駒市特殊詐欺多発警報」を発令し、対策を強化するものです。

■ 生駒市特殊詐欺多発警報・集中的対策強化期間の開始

10 月 1 日（木）

■ 特殊詐欺の認知件数及び被害額の推移（令和 8 年 8 月末現在）



<分析結果>

- ①令和 5 年中の特殊詐欺等被害は 65 歳以上が約 8 割を占めていたが、令和 7 年中には約 5 割となっており、年齢に関わらず被害に遭う可能性がある。
- ②特殊詐欺被害の件数が多い手口は国際電話を使用し警察官を騙る「ニセ警察詐欺」
- ③特殊詐欺被害の 1 件当たりの被害額が多い手口は「SNS 型投資詐欺」

■ 特殊詐欺の認知件数及び被害額の推移の分析結果を受けて実施する主な取組内容

①幅広い年代への啓発

被害が高齢者だけでなく現役世代にも広がっていることを踏まえ、生駒市立病院や地域サロンでは主に高齢者に注意を呼びかけるとともに、ターゲティング広告を活用して現役世代を含む幅広い年代に啓発を行います。また、市内高校では、若年層が犯罪の加害側に巻き込まれることを防ぐため、SNS を通じた「闇バイト」への勧誘を疑似体験するネットリテラシー講座を新たに実施します。

②「国際電話」への対策

国際電話を使った警察官をかたる詐欺への対策として、生駒市立病院や地域サロンで国際電話の利用休止申請を支援し、希望者がその場で申請手続きを完了できるようにします。あわせて、国際電話を防ぐことが出来る対策アプリの導入を普及推進します。地域サロンでは、AI 音声を使った特殊詐欺電話の体験訓練も行います。

③SNS 型投資詐欺への対策

1 件当たりの被害額が大きい SNS 型投資詐欺についても、今回の啓発で重点的に注意を呼びかけます。SNS 上の投資話をきっかけとする被害の手口を紹介し、相談先を周知します。また、ターゲティング広告を活用して注意喚起を行います。

	内容	備考
新規	1 国際電話対策 (固定電話、スマートフォン)	<高齢者> 生駒市立病院での診察・会計の待ち時間や、地域サロン等で生駒警察署と連携して国際電話利用休止のWEB上での申請やアプリの導入を支援し、希望者がその場で申請手続きを完了 <若年層> Xでアプリの導入について周知
	2 詐欺電話訓練の実施	ITBメンバーと共に実施 AI音声で特殊詐欺を体験
	3 ネットリテラシー講座の実施	若年層に向けて体験型のネットリテラシー講座を新たに実施 生徒が体験型ゲームを通じてSNS上のやり取りをたどりながら、「闇バイト」に誘い込まれる過程を疑似体験し、不審な募集を見分ける力や、困ったときに相談することの大切さを学ぶ
	4 各種啓発品の作成 (イメージキャラクターたけばつくんの浸透)	チラシ、缶バッジ、ステッカー、トイレトペーパー、ペンスタンド(ペーパークラフト)、ウェットティッシュ、のぼり旗、着ぐるみ
強化	5 地域サロン等での注意喚起	地域サロン等へ訪問し、高齢者等へ直接注意喚起を実施 (生駒市長、生駒警察署長 揃い踏みでの啓発も実施)
	6 ターゲティング広告の実施	地域サロン等へ来れない現役世代を対象(30代~70代)として広告を掲載 (バナーの効果を確認し適宜画像を入れ替え、広告掲載期間を前回より延長)
	7 金融リテラシー講座の実施	これまでのJ-FLECによる金融リテラシー講座に加え、ITBメンバー(近畿財務局奈良事務所、IKOMA FC奈良 等)と共に実施
	8 特殊詐欺防止機能付電話機の購入補助	購入費用の半額補助(上限:8,000円) (予算増額 80万円⇒96万円 補助見込み件数100件⇒120件)
継続	9 年金支給日にATMコーナー等で注意喚起	生駒警察署、地域安全推進委員、民生児童委員等ITBメンバーと共に実施
	10 生駒警察署庁舎に懸垂幕の設置	特殊詐欺への注意喚起を促す懸垂幕を庁舎に設置
	11 車両へのマグネットシート貼付	ゴミ収集車、郵便配達車両、公用車、コミュニティバス等市内を走る車両に貼付

(生駒市独自の取組)

■ （参考）奈良県の取組

奈良県は、特殊詐欺における人口当たりの被害金額が全国ワースト1位（令和7年）であり、令和8年8月末現在においても、認知件数と被害額ともに、前年を上回る過去最悪のペースで増加している現状をふまえ、県民の皆様の安全・安心を守るため、奈良県・奈良県警察・奈良県金融機関防犯協議会は、令和8年9月15日に「非常事態宣言」を発令し、「ならみんなでSTOP！特殊詐欺ゼロ運動」を展開しています。

- ・ 詐欺電話のブロック（警察庁推奨アプリのインストール支援、国際電話利用休止の申込促進）
- ・ 情報発信の強化（奈良県警察安全・安心アプリ「ナポリス」のインストール支援）
- ・ 啓発動画の放映、チラシ配布
- ・ 高校生等への体験型授業の実施、特殊詐欺防止出前講座の開催

この件に関する報道関係からのお問合せ

生駒市消費生活センター（福山） ☎0743-72-1100

生駒市防犯交通対策課（大塚） ☎0743-74-1111（内線 3400）